

2 研究内容1「子どもが社会とのかかわりを深める教材開発」について

(1) 研究内容1-①「社会に対する関心を高める教材の選定」

「地域おこし」が本ユニットのテーマである。「地域おこし」とは持続可能な地域をつくることである。具体的な取組として、地域の特産物を生かした商品の開発や、ゆるキャラによる地域のPRなどを行う自治体があるが、それらはすべて持続可能な地域づくりへとつながっている。持続可能な地域づくりとは、地域が単に経済的に潤うだけでなく、地域の生活や文化を維持・発展させるために、雇用があり、教育があり、適切な人口構成をもち、そこに暮らす人々が生き生きと生活を送ることができる地域をつくり出すことである。

日本各地の自治体で、持続可能な地域づくりを目指してさまざまな「地域おこし」が行われている。その中で、「地域おこし」の新たな可能性を我々に感じさせてくれるのが、本ユニットで取り上げる海士町である。

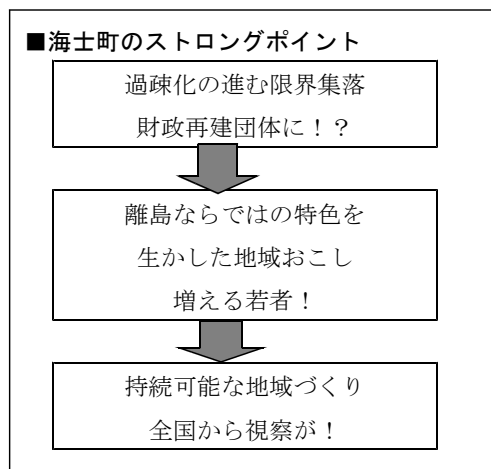
海士町は、人口約2,400人、島根県の沖合約60kmに浮かぶ隠岐諸島にある小さな町である。コンビニエンスストアやショッピングモールがない本土から船で3時間かかる離島の暮らしは、都市に比べはるかに不便である。しかし、海士町の人口は、島外から移住してきた人が1割に及ぶ。しかも、その多くが20代から40代の働き盛りの若い世代の人々である。また、少子化で統廃合寸前だった島唯一の高校は、全国から生徒が入学する学校へと変貌し、2012年度には異例の学級増となっている。現在、海士町は「地域おこし」に成功した自治体として全国から視察が絶えない地域となっている。

しかし、そんな海士町も10年前は財政破綻の危機に瀕する限界集落だった。近い将来、夕張市のように財政再建団体に移行するという予測も立てられていた。その海士町が、そのような窮状からいかに脱したのか。なぜ同じ悩みを抱える全国の地方公共団体から視察の絶えない町になったのか。これを追究していくことが、本ユニットの学習のテーマである。離島であることの特色を生かしながらユニークな取組を行う海士町は、「地域おこし」について考える上で非常に興味深い地域である。生徒が自ら学ぼうとする学習意欲を高めることができる魅力が海士町にあると考え教材に選定した。

本ユニットで生徒たちは、過疎化という深刻な問題を抱え、その中で「地域おこし」に取り組む人たちの工夫や努力を学ぶことになる。「地域おこし」がどのように行われているのかを知り、地域に対する見方・考え方を広げ、深めさせる。

社会が抱える課題を解決していくためには、多様な視点と手法から取組が行われることが必要である。本ユニットの学習では、人口の増加、高齢化対策、教育、交通、産業、人材など様々な視点から「地域おこし」について考えさせていく。そして、海士町の地域おこしのために何をすべきかを生徒に予想・考察させる。これは生徒の社会的事象を多面的・多角的にとらえる力を伸ばし、見方・考え方を高めていくことにつなげることを意図している。

本ユニットの学習を通じて目指す生徒の姿は、持続可能な社会の実現を目指し、自ら社会に参画しようとする態度を育むことである。海士町の「地域おこし」の学習を通じ、地域の持続性についての普遍的な知識を生徒に獲得させる。そして、それにより地域との関わりについて考え、行動する芽となることを期待したことが、この海士町を教材に選定した理由である。



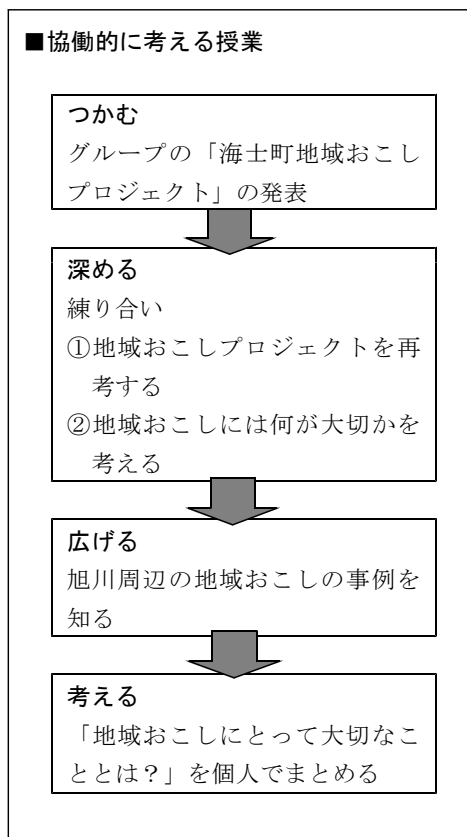
3 研究内容2「子どもが主体的・協働的に追究する学習展開」について

(1) 研究内容2-②「社会的事象の意味や特色，相互の関連，概念について協働的に考える授業構成」

前時までに、「海士町地域おこしプロジェクト」（以下「プロジェクト」という）を自由な発想で各グループごとに考える。生徒は町の現状や産業などを知った上でこの「プロジェクト」に臨む。そこには、これまで学習した成果が反映されているはずである。

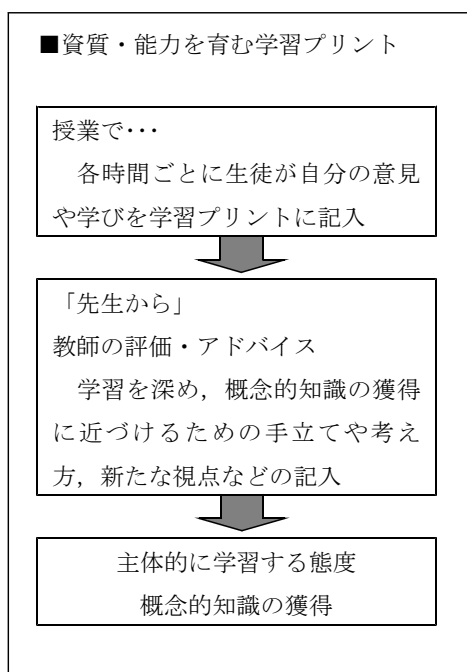
本時の「つかむ」場面では、前時に各グループで練り合った「プロジェクト」を発表する。各グループの「プロジェクト」について、他の班の意見を聞きながら思考を深め、「プロジェクト」で表現されたそれぞれの生徒の学習の成果や思いを共有する場面にしたいと考えている。

「深める」場面でのキーワードは「比較」である。自分たちの「プロジェクト」と各グループの「プロジェクト」との比較。海士町で行われた実際の取組との比較。これらの比較を行った後に、生徒たちに改めて「過疎地域の人々が地域おこしにおいて何を大切にしているのか」を問う。生徒がグループで練り合い思考する過程で、地域おこしについて、概念的知識に迫ることをねらっている。



(2) 研究内容2-③「生徒の資質・能力をバランス良く育むための評価」

中国・四国地方の学習では、ワークシートを冊子にした学習プリントを使用する。各時間ごとに生徒が自分の意見や学びを記入するこの学習プリントには、どのページにも最後に「先生から」の欄を設けている。「先生から」の欄を設けたねらいは、本ユニットで定着させたい概念的知識を、生徒が主体的に獲得できるように導いていくことにある。授業の中で生徒が学習プリントに記入した気付きや考えについて教師が評価し、学習を深め、概念的知識の獲得に近づけるための手立てや考え方、新たな視点などのアドバイスを記入していく。学習プリントは毎時間回収し、次時までに生徒に返却する。この学習プリントを通して、生徒は自分の学びについて、どこが自分の良い所で、どこが改善すべき点かを知り、今後の学習に活用していくことになる。この学習プリントを最大限活用することで、生徒の主体的に学習に取り組む態度や資質・能力を育んでいきたい。



4 ユニットの目標

(1) 地域おこしの課題について、様々な資料から有用な情報を選択し、その解決策を考えさせながら、我が国の過疎の問題と地域おこしのあり方について理解させる。

【知識・技能】

(2) 過疎の現状や地域おこしの課題について、その背景にある地理的条件を多面的・多角的に考察しながら、適切にまとめ、表現させる。

【思考・判断・表現】

(3) 海士町の過疎の問題や地域おこしに関心をもたせ、我が国が抱える過疎と地域おこしの問題を意欲的に捉えようとする態度を育てる。

【主体的に学習に取り組む態度】

5 ユニットの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
過疎の現状や地域おこしに関する資料から有用な情報を選択し、その解決策を適切にまとめ、地域の特色や立地、人口、産業を生かした地域おこしが行われていることを理解している。	地域おこしについて、資料や他の生徒の発表などを基に、多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。	自己との関わり合いについて言及しながらワークシートに自分の考えや学びを記入するなど、過疎の現状や地域おこしについて関心を高め、意欲的に捉えようとしている。

6 知識の構造図

小学校での既習知識		
<p>第3・4学年「2 はたらくひととわたしたちの暮らし（東京書籍『新しい社会』）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々は地域の気候や自然条件，特色を生かして工夫しながら仕事をしている。 <p>第5学年「1 私たちの国土（東京書籍『新しい社会』）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土の環境が人々の生活や産業に密接に関連をもっている。 		
基礎的知識	説明的知識	概念的知識へとつなげる指導の重点
高齢社会(高齢化) 少子化 三大都市圏 高度経済成長 過密地域 過疎地域	我が国では，少子高齢化が深刻な社会問題となっている。 我が国の人口は三大都市圏に集中している。 農村・山間部，離島は過疎地域となっている。	日本列島は不均等な人口分布が見られ，高度経済成長を機に過疎・過密の問題が深刻化したことを理解させる。 過疎地域では少子高齢化がより進行している現状をつかませる。
瀬戸内 山陰地方 南四国地方 中国山地 四国山地	瀬戸内地方では，都市が発展し，人口が集中している。 山陰・南四国地方では，高度経済成長期に工場や都市の労働力として，多くの人口が流出し，過疎化が進んでいる。	県別の人口や工業生産額の推移を表すグラフを読み取らせ，産業が瀬戸内地方に集中したため，山陰・南四国地方では仕事が不足し，人口の流出につながっている現状に着目させる。
政令指定都市 地方中枢都市 都市問題	広島市は大企業の支店が置かれ，中国・四国地方の商業や交通の中心となっている。 広島市ではゴミ処理や水の確保，環境の悪化，交通渋滞などが深刻である。	広島市の発展の歴史では，鉄道が早期に開通していたことに着目させ，地域の発展における交通の重要性を意識させる。 都市問題に直面する人々にとって，過疎地域の現状が逆に魅力的な一面がある点に気付かせる。
山陽新幹線 山陽自動車道 本州四国連絡橋 地方空港 石見空港	交通の整備によって，ヒトやモノの流れが変わり，地域が大きく変化した。	地方空港の増加が地域活性化の要因となる反面，資金面など空港維持の難しさについても着目させる。
耕作放棄地 限界集落 平成の大合併 中国自動車道 高知県馬路村 徳島県上勝町 地産地消	中国・四国山地や離島では過疎化が進行し，人々の生活が困難になってきている。 馬路村や上勝町では，地元の特産物を生かして地域おこしに成功した。	津山市の例を取り上げ，中国自動車道の開通によって，企業誘致が進んだことと都市へ買い物客が流出する功罪に着目させる。 地元のよさを生かした取組に着目させる。 人口の半数が高齢者の上勝町では，地域おこしで高齢者の雇用を生んだ点に着目させる。
概念的知識		
地域おこしを成功させるためには，その地域のよさ（自然，特産物など）を生かし，働く場をつくり，さまざまな産業を活性化させ，持続可能な社会を目指すことが必要である。		

※白抜き文字は小学校の学習を踏まえたもの

7 指導計画

段階	時	学習活動	評価規準と評価方法
事象との出会い	①	1 歴史・気候などの様々な視点から人口分布が偏っている原因を読み取り、人口流出による過疎化が進行しているという問題点を捉える。 (班内で疑問をもち、問題意識を共有する場面)	主 人口の増減によって起こる問題について、意欲的に捉えようとしている。 【ワークシート】
	②	2 中国・四国地方の中核都市である広島市を中心に都市化が抱える課題を知る。 (人口の増減により生じる問題への理解を深める場面)	知技 人口分布図から沿岸部と内陸部の違いを読み取っている。 【ワークシート】
	③	3 交通網の発達が、人々の生活の変化と人口の動きに影響を及ぼしていることを考察する。 (人口の増減の理由を多面的・多角的に考察する場面)	知技 都市化が進む原因を捉えると同時に、生じる問題点について理解している。 【ワークシート】
	④	4 人口減少による地域が抱えている問題の解決に向けて、馬路村や上勝町の地域おこしの取組から、様々な努力がなされていることを理解する。 (地域おこしの現状を知り、課題解決を支える知識を獲得する場面)	思 交通網の発達が人々の生活に影響を与えていることを複数の視点から考察している。 【ワークシート】
学習課題の設定	⑤	5 海士町の概要や過疎の現状を知る。 (生徒に問題意識をもたせ、関心を高める場面)	知技 地域おこしにより、過疎化の課題を解決しようとしていることを理解している。 【ワークシート】
	6	6 様々な資料から海士町が抱える問題について理解する。 (解決への予想や、追究・発表の見通しをもたせる場面) *資料1を提示する。	知技 複数の資料から海士町の人口に関わる諸問題を読み取り、問題解決に向けての見通しをもっている。 【ワークシート】
追究・解決	⑥	7 「海士町地域おこしプロジェクト」を個人で考える。 8 各班で個人のアイデアを練り合い、まとめる。	主 海士町の過疎の現状について関心をもち、解決に向けて、意欲的に追究している。 【行動観察】

段階	時	学習活動	評価規準と評価方法
追究・解決		<p>9 各班で「海士町地域おこしプロジェクト」を作成する。 (個々の様々な意見を集め、多面的・多角的なアプローチから課題の解決に向かっていく場面)</p>	<p>思 「地域おこしプロジェクト」のアイデアを考え、まとめている。 【ワークシート】</p>
	<p>⑦ (本時)</p> <p>10 各班の代表者が、「海士町地域おこしプロジェクト」を発表する。</p> <p>11 各プロジェクトの中から共通点を見付け、キーワードを考える。</p> <p>12 集まったキーワードから、海士町が地域おこしを成功させるためには何をしたらよいかを考え、グループでまとめる。</p> <p>13 実際に行われた海士町の地域おこしの事例を伝え、各班で考えたプロジェクトと実際の政策を比較する。</p> <p>14 海士町・馬路村・上勝町の地域おこしから、「過疎地域の人々が、地域おこしにおいて何を大切にしているのか」を考える。 (既存の知識とそれぞれの事例から知識を関連付け、概念的知識を獲得していく場面)</p>	<p>知技 過疎地域では、地域のよさを生かし、様々な産業を活性化させることで持続可能な社会を目指し、地域おこしが行われていることを理解している。 【ワークシート】</p>	
発展		<p>15 中国・四国地方以外での地域おこしの取組を知る。 (学びを振り返り、学んだことを他の事例に当てはめたり、新たな問いや疑問を生む活動、次單元への関心を高める場面)</p> <p>16 「地域おこしにとって大切なこととは何だろうか？」という問いに対して、個人でまとめる。</p>	

【概念的知識】

地域おこしを成功させるためには、その地域のよさ（自然や特産物など）を生かし、働く場をつくり、様々な産業を活性化させ、持続可能な社会を目指すことが必要である。

8 本時の授業構成

- (1) 目標 過疎地域では、地域のよさを生かし、産業を活性化させ、持続可能な社会となるよう、地域おこしが行われていることを理解させる。 【知識・技能】

(2) 展開

過程	学習活動	教師のかかわり	学習評価
つかむ	<p>1 前時に各班で考えた、地域おこしプロジェクトの案を代表者が発表する。</p> <p>【予想されるプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で獲れる特産物を使って目玉となる商品をつくる。 ・若者が働く場をつくる。 ・交通網を整備し、ホームページを利用して町のPR活動を行い、観光に力を入れる。 	<p>1 各班のプロジェクトを印刷しておき、各班の手元に置き、意見を交流・共有できる体制をつくる。</p> <p>※4人班を6班、3人班を3班つくり、少人数で活発な意見交流をさせる。</p>	
学習課題「地域おこしにとって大切なこととは何だろうか」			
深める	<p>2 各班で出されたプロジェクトの中から、共通点を見付け、キーワードを考えさせ、意見を共有する。</p> <p>【考えられるキーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サザエ、あわび、岩がきなどを使った料理や特産品 ・インターネットを使った販売 ・サテライト授業や補助金 など <p>3 海士町の地域おこしのために、より良いプロジェクトを再度考える。</p> <p><期待したい生徒の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サザエや岩がきを利用し特産品をつくり、インターネットなどを利用して販売し、赤字を解消する。 ・学校の教育設備を整えたり、病院を建設することで、将来の働き手である若者を増やす。 ・空港や港を整備し、交通網を発達させることで、観光客や移住者を増やす。 	<p>2 その地域の自然や資源などを有効に活用することが必要なことに気付かせる。</p> <p>3 どうしたら地域おこしが成功するのかを、キーワードや他の班の意見を参考にさせ、再度練り合わせる。</p> <p><練り合いの目的></p> <p>各班の発表から共通点を見付け、地域おこしのポイントとなることを見出す。</p> <p><練り合いの手順></p> <p>①各班の発表を分類して共通点を明らかにする。</p> <p>②地域おこしに必要なポイントをまとめる。</p> <p>③ホワイトボードに必要なポイントを書き、代表者が発表する。</p>	
	<p>4 ここで実際に海士町が地域おこしで成功した町であること知り、各班で考えたプロジェクトと、実際の海士町の政策を比較する。</p>	<p>4 海士町のこれまでの取組を紹介し、各班で考えたプロジェクトと類似していることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長のコメント（給料カット） ・地域おこし協力隊員によるみかん農園 ・異例の学級増をした高校の紹介 ・CASシステムと隠岐牛のブランド化 <p>*資料2を提示する。</p>	

過程	学習活動	教師の関わり	学習評価
深める	<p>5 馬路村と上勝町では、どのようにして地域おこしを行ったのかを確認する。</p> <p>6 海士町・馬路村・上勝町の地域おこしから、「過疎地域の人々が、地域おこしにおいて何を大切にしているのか」を各班ごとに考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><期待したい生徒の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさを存分に生かしている ・若者などの働く場を提供している ・町の取組を全国に発信しているなど </div>	<p>5 ここで、馬路村や上勝町では特産品を利用し、産業を活性化させ、高齢者の雇用を生み出していることを、パワーポイントで確認させる。</p> <p>6 これまでの地域おこしの例を通して、政策の目的や対象に着目させて考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><練り合いの目的></p> <p>3つの地域おこしから、過疎地域で行われている地域おこしは何を大切にしているのかを考えさせる。</p> <p><練り合いの手順></p> <p>①海士町・馬路村・上勝町の3つの町での実践を整理させる。</p> <p>②政策の目的や対象を明らかにし、共通点や特徴的な取組を見出す。</p> <p>③画用紙にまとめ、代表者が発表する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【概念的知識獲得の場面】</p> <p>地域おこしを成功させるには、その地域のよさ（自然・特産品など）を生かし、働く場をつくり、様々な産業を活性化させ、持続可能な社会を目指す必要がある。</p> </div>	
広げる	<p>7 中国・四国地方以外での地域おこしの取組を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【東 川】 定住促進課、写真甲子園産業の創出 など</p> <p>【当 麻】 子どもの医療費0 修学旅行補助 など</p> </div>	<p>7 規模は違えど、どの地域においても、地域のよさをいかし、産業を活性化させる取組が行われていることに気付かせる。</p>	
考える	<p>8 「地域おこしが目指すものは？」という問いに対して、個人でまとめる。</p>	<p>8 疑問点や不思議に感じたことなどもまとめさせ、この先の学習へとつなげさせる。</p>	<p>【知技】 地域のよさを生かした産業の活性化などで持続可能な社会を目指し、地域おこしが行われていることを理解している。</p> <p>【ワークシート】</p>

(3) 評価の具体

◎十分満足できる状況 (A)

「地域おこしで大切にしていることは、地域のよさを生かし、産業を活性化させ、これからの社会や町を支える人々を増やすことによって、持続可能な社会となることを目指すことである。」

○おおむね満足できる状況 (B)

「地域おこしで大切にしていることは、地域のよさを生かし、産業を活性化させることで、持続可能な社会となることを目指すことである。」

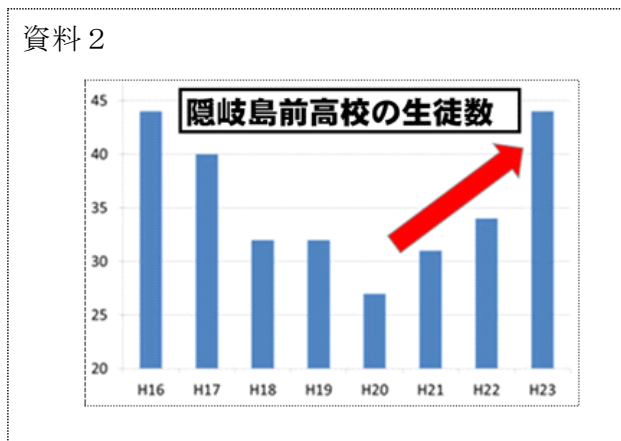
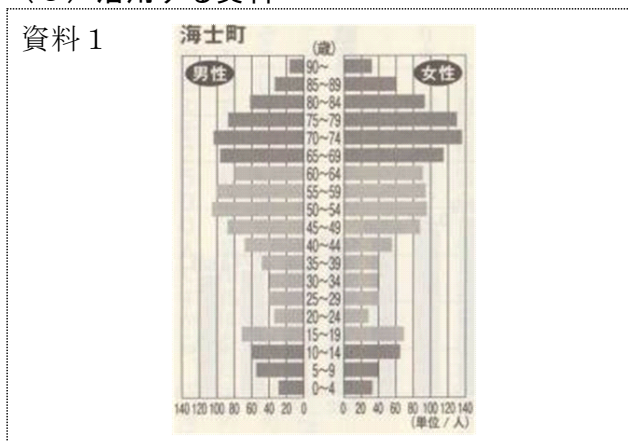
△努力を要すると判断される生徒に対する具体的な手立て

机間指導の際に、これまでの学習プリントのどこに注目すれば良いのかヒントを与える。板書の中にアンダーラインなどを引き、そこに着目させる。

(4) 板書計画

<p style="text-align: center;">【ホワイトボード】 各班で考えたプロジェクト</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">1班</td> <td style="width: 33%;">4班</td> <td style="width: 33%;">7班</td> </tr> <tr> <td>2班</td> <td>5班</td> <td>8班</td> </tr> <tr> <td>3班</td> <td>6班</td> <td>9班</td> </tr> </table>	1班	4班	7班	2班	5班	8班	3班	6班	9班	<p style="text-align: center;">【黒板】 ～海士町を例に～ 学習課題 地域おこしにとって大切なこととは何だろうか</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">☆地域おこしプロジェクトの共通点</th> <th style="width: 33%;">☆海士町の地域おこし</th> <th colspan="2" style="width: 33%;">☆海士町・上勝町・馬路村の地域おこしから… 地域おこしにおいて何を大切にしているの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>働く場所を増やす</td> <td>地域の良さを存分に生かしている</td> <td style="width: 16.5%;">1班</td> <td style="width: 16.5%;">5班</td> </tr> <tr> <td>地域で獲れるものを生かす</td> <td>若者たち働く場を提供している</td> <td>2班</td> <td>6班</td> </tr> <tr> <td>特産品を利用する</td> <td>自分たちの町での取り組みを全国に発信している など</td> <td>3班</td> <td>7班</td> </tr> <tr> <td>絵巻を充実させる など</td> <td></td> <td>4班</td> <td>8班</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9班</td> </tr> </tbody> </table>	☆地域おこしプロジェクトの共通点	☆海士町の地域おこし	☆海士町・上勝町・馬路村の地域おこしから… 地域おこしにおいて何を大切にしているの		働く場所を増やす	地域の良さを存分に生かしている	1班	5班	地域で獲れるものを生かす	若者たち働く場を提供している	2班	6班	特産品を利用する	自分たちの町での取り組みを全国に発信している など	3班	7班	絵巻を充実させる など		4班	8班				9班	<p style="text-align: center;">【大型テレビ】</p> <p style="text-align: center;">・パワーポイントの使用</p> <p style="text-align: center;">海士町の 実際の取組な どの資料提示</p>
1班	4班	7班																																	
2班	5班	8班																																	
3班	6班	9班																																	
☆地域おこしプロジェクトの共通点	☆海士町の地域おこし	☆海士町・上勝町・馬路村の地域おこしから… 地域おこしにおいて何を大切にしているの																																	
働く場所を増やす	地域の良さを存分に生かしている	1班	5班																																
地域で獲れるものを生かす	若者たち働く場を提供している	2班	6班																																
特産品を利用する	自分たちの町での取り組みを全国に発信している など	3班	7班																																
絵巻を充実させる など		4班	8班																																
			9班																																

(5) 活用する資料



＜資料の提示・活用などの工夫点＞

資料1 過疎の現状をつかませる場面で提示する。都市部の人口ピラミッドと比較し、過疎の深刻さを捉えさせ、課題追究に意欲をもたせる。

資料2 海士町が地域おこしに成功した事例を紹介する場面で提示する。高校の生徒数が予想に反して増加しているという驚きから、主体的な課題追究につなげる。

9 教材開発に関する参考文献・参考ホームページ、取材先など

□参考文献

- ・そうだ葉っぱを売ろう！ 著者：横石知二 出版社：SoftBank Creative
- ・「ごっくん馬路村」村おこし 著者：大歳昌彦 出版社：日本経済新聞社
- ・未来を変えた島の学校 著者：山内道雄，岩本 悠，田中輝美 出版社：岩波書店
- ・海士人 編集：COMMUNITY TRAVEL GUIDE 編集委員会 出版社：英治出版
- ・海士伝3 監修：巡の環 編集：赤嶺 淳，佐野 直子 出版社：新泉社

□ホームページ

- ・海士町オフィシャルサイト <http://www.town.ama.shimane.jp/>
- ・上勝町HP <http://www.kamikatsu.jp/>
- ・馬路村HP <http://www.vill.umaji.kochi.jp/html/index.htm>
- ・灯台もと暮らし 島根県海士町 <http://motokurashi.com/shimane-amacho/20150410>